



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2017/2/28にご同意いただいた方

【研究課題名】 脳脊髄液試料の品質に与える採取・処理・保存条件の検討

【研究責任者】 後藤 雄一（国立精神・神経医療研究センター メディカル・ゲノムセンター）

【本研究の目的及び意義】

脳脊髄液は、脳由来の成分を含んでおり、精神・神経疾患の検査法をつくるうえで有用です。しかし、採取・処理の方法は、施設によって違うため、正確な研究が困難な場合があります。そこで、当センターで様々な条件で処理・保存した脳脊髄液を東北大学で解析し（メタボローム解析）、どのような処理・保存法が適切か共同研究します。

【本研究に提供している試料・情報】

髄液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)